

新商品のご紹介

業務用・皮膚保護クリーム「ケロデックス」のご紹介です。

こちらのケロデックスは、お仕事前に使うことでその後のさまざまな外的刺激物から皮膚を守る、保護クリームです。通常のハンドクリームなどは、水仕事などの後にクリームを塗り保護するもので、クリームを塗ったあとに水で洗ったりしてしまうと落ちてしまいます。しかし、このケロデックスは、塗った後に水で洗っても効果が保持されます。

ケロデックスはクリームが皮膚の角質に浸透することで、見えないバリアを形成し、外的刺激物から皮膚を保護します。浸透したクリームは、時間の経過と体の新陳代謝によって、自然に抜け落ちる仕組みです。

使い方ですが、まず、塗布部分を石鹸と流水でよく洗い清潔にします。その後、水気をよく拭き取ったところにケロデックスを適量とり、30秒から1分ほどかけてよくすり込みます。お仕事前に塗っていただくことで、頻繁な手洗いや消毒液等による手荒れ・肌荒れを防ぐことができます。また、プラスチック手袋などによるかぶれの予防にも効果を発揮します。保護効果は



約3時間から4時間程度で、その間であれば水、石鹸、アルコールで洗っても保護効果は持続します。頻繁な手洗いや消毒が必要な作業に適していると言えます。

また、特徴的なにおいがしたり、ぬめり、べたつきを感じるものではありませんので、作業前に使用してもお仕事に差し障りはありません。もしクリームを多めに塗ってしまい、べたつきを感じる場合は、表面に残ったクリームを洗い流すことで解消します。この場合、表面を洗い流しても保護効果は保持されるのでご安心ください。

このケロデックスクリームには用途に応じてさまざまな商品形態があります。興味を持たれたお客様がおりましたら、弊社営業担当までお気軽にお声がけください。

(Y)

頭の体操

頭の体操にビジネスマナーの勉強はいかがですか？手紙や文章などで、下記の宛名につける敬称をお答えください。

- スギウラ株式会社（ ）
- 営業部主任岡本（ ）
- 株主（ ）

解答は来月号に掲載します。
(お)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業 1 部
027-361-5734
営業 2 部
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

スギウラ株式会社 027-361-5808

天保8年（1837年）創業

2014年12月1日 発行 第 89号

特 集

・タック紙

・冬の寒暖差にご注意！

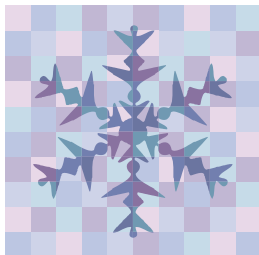
・窓の話

・ユポってなあに？番外編 2

・新商品のご紹介

・企画：頭の体操

タック紙



毎年、この時期になると『一年が過ぎるのはあっという間ですね』とお客様とお話する機会が増えてきます。今年は、11月からそのような会話をしていましたが、毎年時間が過ぎるのが早くなっていくように感じます。

以前のニュースレターでも書きましたが時間の流れの感じ方は感覚によって左右されます。しかし、物理的に早くなっているような感じがしたりします。もし、世界全体の時間の進み方が同時に早くなっていれば誰も気がつかないかな、などと考えたりします。

時間は誰にでも平等に与えられたものとよく言われます。限りある時間を、今年もあとわずかですが大切に使いたいものですね。

話はまったく変わりますが、当社では、印刷用紙、板紙、包装資材、家庭紙、雑貨などいろいろな商品を販売しています。そんな中で、今回はタック紙をご紹介します。

タック紙とは、粘着ラベルのことです。そのタック紙は現在、食品や物流、医療などさまざまな場所で日常的に使ったり、見たりするものです。

タック紙は表面基材（実際のラベル部分）、粘着剤、剥離紙から構成されます。その材質はいろいろあり、用途や目的によって様々な組合せが選択されています。

まず表面基材であるラベルは上質、アート、キャスト、サーマル（感熱紙）など紙が 80%を占めています。フィルム系はおよそ 20%程度になります。

粘着剤は使用用途によって、永久接着タイプ（一般強粘・冷凍食品用・最強粘など）、再剥離タイプ（弱粘・強粘など）に大別されます。この粘着剤も使用目的によって選択する必要があります。

剥離紙は上質紙系とグラシン紙系に大別されます。上質紙系は、上質紙などに一度「目止め」と呼ばれる加工をしてから、シリコーン（剥離剤）を塗布します。この剥離紙は古紙として回収できます。

一方、グラシン紙は非常に紙の密度が高いので「目止め」を行わず直接シリコーンを塗布することができます。グラシンは紙なので古紙の回収にも出すことができます。

なぜ上質などよりもコストの高いグラシン紙が使われるのでしょうか？それは、グラシン紙は透明性がある程度確保されているからです。ラベルを自動ラベラーで商品に貼り付ける時には、ラベルの位置を読み取らなければなりません。それを光の透過率で行っているのです、ある程度透明度のある剥離紙が必要になってくるからです。不透明度の高い上質系では不向きなのです。

タック紙は、このように表面基材と粘着材と剥離紙、そしてさらに寸法（平判とロール）、スリットの有無・本数など、細かい指定が必要になります。

仕様が細かいのでよくわからないという方もいらっしゃると思いますが、お問合せ頂ければご説明させていただきますので、タック紙のみでも、印刷する場合でもお気軽に問合せ下さい。

冬の寒暖差にご注意！

先日、温度変化の怖さに関しての記事を読み、興味深かったので書かせていただきます。

『行ってきます』と『お風呂入ってきます』毎日使う言葉ですが、これからの季節で事故に繋がってしまう可能性が高いのはどちらだと思いますか？

正解は意外にも『お風呂入ってきます』だそうです。その原因としまして『ヒートショック』が多く、それによって亡くなってしまう人は交通事故の約2倍の年間14000人と言われています。

『ヒートショック』とは、急な温度変化により血圧が変化して、脳卒中や心筋梗塞、脳出血を起こしてしまう現象です。

そのため、お風呂に入る時は、暖房で暖かい居間から寒い脱衣所、また温かい湯船へ、短時間の中で2回も身体が急激な温度の変化を受けてしまい、ヒートショックが起こる可能性が高いと言えます。

事故を防ぐ方法としましては、

- ① 脱衣所に暖房機を置くなどして、入浴前に暖かくしておく。
- ② 浴槽のふたを開けたり、服を脱ぐ前に浴槽の床や壁に温かいシャワーをかけ浴室を暖かくしておく。
- ③ 湯船に入る前に、足や手など末端部分からかけ湯をして、徐々に体を温める。
- ④ いきなり肩まで湯船に沈まないで、足からゆっくりと入る。
- ⑤ 湯船から出る際は、急に立ち上がらないで、ゆっくりと立ち上がる。

などあります。このように未然に事故を防ぐこともできますので、寒いからといって急にお湯を被ったりすることはやめましょう。

(S)

窓の話

温度関係の繋がりから、今度は窓の話をしていきたいと思います。

最近の暖房器具は寒い場所や人を感知してその場所を中心に暖めてくれる便利な機能ができています。そんな高度な機能がある家電では、日本は先進国なのですが、窓に関してはどうなのでしょう？

まず、欧米や中国、韓国は断熱基準が法令化されていますが、日本はされていません。韓国と窓の断熱性能を比べますと、韓国の最低基準が日本の最高水準の数値とも言われています。

また、窓の開口部を通して、冬に暖房の熱が逃げる割合は58%、夏は冷房中に熱が入ってくる割合は73%にもなります。

そして、使われているサッシの種類によっても断熱性能は大きく変わってきます。そこには日本が後進国だと言われている理由があります。

日本では当たり前のように使われているアルミサッシですが、米国では全50州の内24州では販売を禁止されています。

米国では84%が樹脂や木材を使ったサッシが使われています。

その理由は熱伝率で、アルミサッシは木材サッシの1000倍と言われています。

冷暖房の設定温度を工夫してエコ活動をしている企業様も少なくないと思いますが、まずは、窓性能や品質を改善していくことが大きなエコ活動になるのではないのでしょうか。

(S)



ユポってなあに？番外編2

前回はこの項をお休みしてしまいましたが、復活です。そして復活早々、番外編です。なんだか、作画が間に合わなくなってくると総集編を挟み込んでくる番組みたいですね。

さて、ユポはポリエチレンのフィルムですので、一般的なプリンタでは印刷することが難しいです。そこで今回は、ユポに特殊な加工を施すことで、一般的な水性インクジェットプリンタでの印刷を可能にしたグレードの紹介です。

・ユボジェット XAA 1061 (厚さ 345μm) <写真や絵柄の出力、案内、店舗関係に>

まず1点目は、厚手タイプのユポです。ユポの表面にインク受容層を設けることで、水性インクジェットプリンタでの印刷を可能にしました。このインク受容層がマット調のため、仕上がりがマット調になります。

厚みがあるため、POP などにもラミネート加工無しで使うことができ、水のかかる場所で使ってもユポ自体には変化ありません。

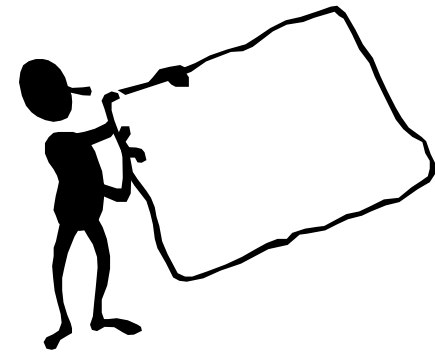
・ユポ・サクシオンタック XAD 1057 (厚さ 272μm) <ツルツルした場所に、何度も貼るなら>

2点目は、吸着タイプのユポその1です。サクシオンタックとは、ユポの裏面に特殊な加工を施し、平滑面に貼れるようにしたものです。イメージとしては、目に見えない微小な吸盤が裏面に無数にある感じです。吸盤ですので、裏面がペタペタすることはありませんし、はがす際に糊が残ったりもしません。また、裏の吸着面が汚れても水拭きすれば何度でも使えます。

サクシオンタックが貼りつく原理は吸盤のそれですので、吸盤が張り付くガラスなどの平滑面でしたら貼ることができます。ただ、車、網入りガラス、曲面にはご使用になれませんのでご注意ください。

・ユポ静電吸着 WEJ 200 (厚さ 204μm) <コンクリート、紙・クロス壁にサッと貼るなら>

3点目は、吸着タイプのユポその2です。静電吸着とは、静電気の力で吸着する、テープや糊のいらぬものです。静電気で貼り付けますので、静電気に弱いものには貼ることができませんが、貼る際ははがす際も簡単で、糊が残ることもありません。



静電吸着は、ユポ本体と剥離フィルムの2枚で構成されており、剥離フィルムをはがす際に静電気が発生し、吸着させます。そのため、一度貼ると静電気が弱まってしまう、はがして貼り直すことには不向きですが、サクシオンタックでは貼ることのできない、コンクリートや壁紙、本棚などにも貼ることができます。が、屋外や静電気が発生している場所、エアコンなどの風が直接当たる場所でははがれやすいのであまりおすすめはできません。

サクシオンタック、静電吸着ともにテープ・糊や画鋏などを使用しませんので、貼っていたものがはがれて特に画鋏が床に落ちる危険などを回避することができます。

サクシオンタックか静電吸着かは、貼る場所や用途に応じてご選択ください。例えば、季節物の、期間が過ぎたら剥がして捨ててしまうような掲示は静電吸着で、長時間貼っておきたいが、季節によって貼る場所を変えたいような例えば写真などはサクシオンタックで、という使い分けができるかと思います。他にも面白い使い分けがありましたら、ぜひお教えてください。

今回ご紹介しました3種類とも、A4とA3サイズのご用意がございます。包装単位は弊社営業担当にお問い合わせください。

最後に注意点です。インクジェット対応のユポすべてに共通することですが、水がかかる場所で使用した場合、ユポ自体には変化はなくても、インクジェットのインクが水で流れることがありますので、ご使用前にテストを行うことをおすすめいたします。詳細は弊社営業担当にご相談ください。

(M)